

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
および家計消費の月別動向について(月報)**

平成19年12月版

平成20年2月

水産庁漁政部企画課

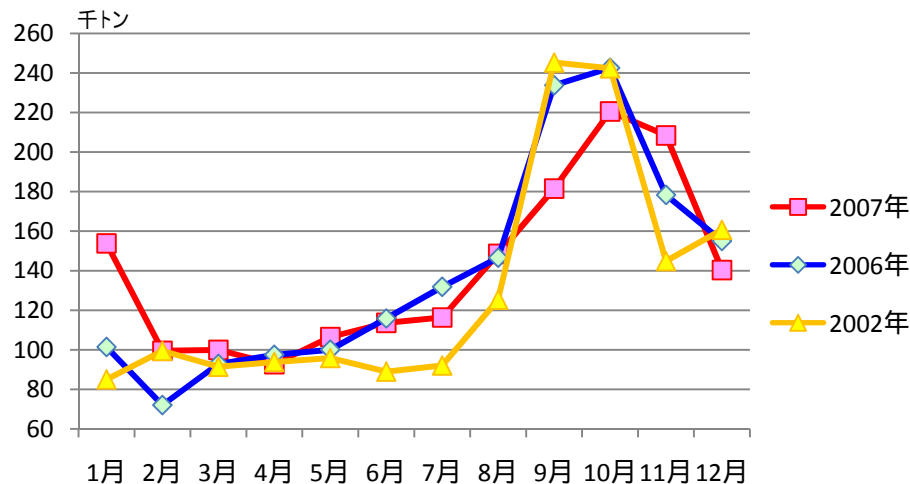
1 産地水産物水揚量の動向

2007年12月の水産物の産地水揚量は前年同月と比べ、単月ベースで9.5%減少し、累月ベースでは0.9%増加。

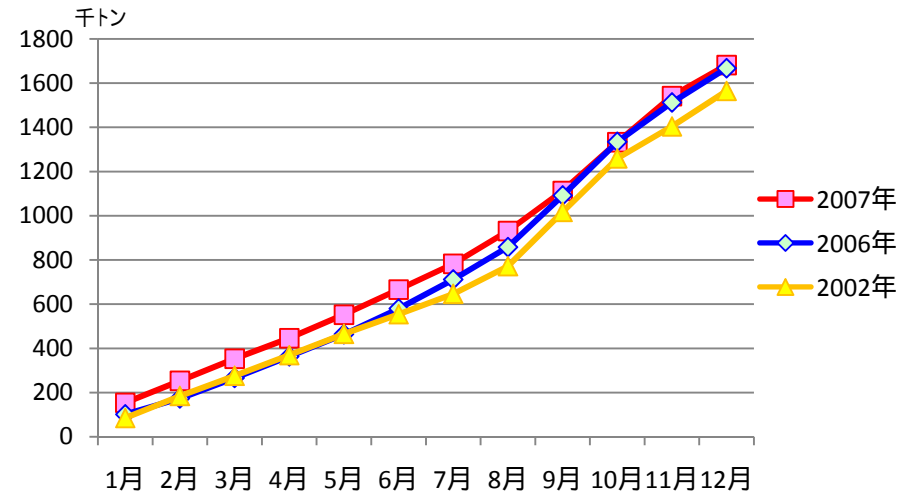
2007年前半は累計水揚量は前年実績を上回っていたが、12月までの累計では0.9%増とほぼ前年並みとなった。

前年と比べてびんなが(生鮮・冷凍)、するめいか(生鮮)等の水揚量が大きく増加(累月ベース)。くろまぐろ・みなみまぐろ(冷凍)、めばち、きはだ、するめいか(遠洋)等は減少。

産地水産物水揚量の推移(単月ベース)



産地水産物累計水揚量の推移



		H18計	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19累計
水揚量	数量(千トン)	1,668	154	100	100	93	107	114	116	149	182	221	208	140	1,682
	前年同月比	-12.6%	51.7%	38.2%	7.7%	-4.8%	6.4%	-1.9%	-11.8%	1.3%	-22.3%	-9.1%	16.9%	-9.5%	0.9%
	2002年同月比	6.6%	81.0%	0.1%	9.4%	-1.1%	11.1%	27.7%	26.4%	18.5%	-26.0%	-9.0%	43.9%	-12.6%	7.5%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

- 注：1) 本統計は、全国2263漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成18年度の年間水揚量(1668千トン)の総生産量(5669千トン、概算値)に対する割合は約29%である。
- 3) 2002年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。

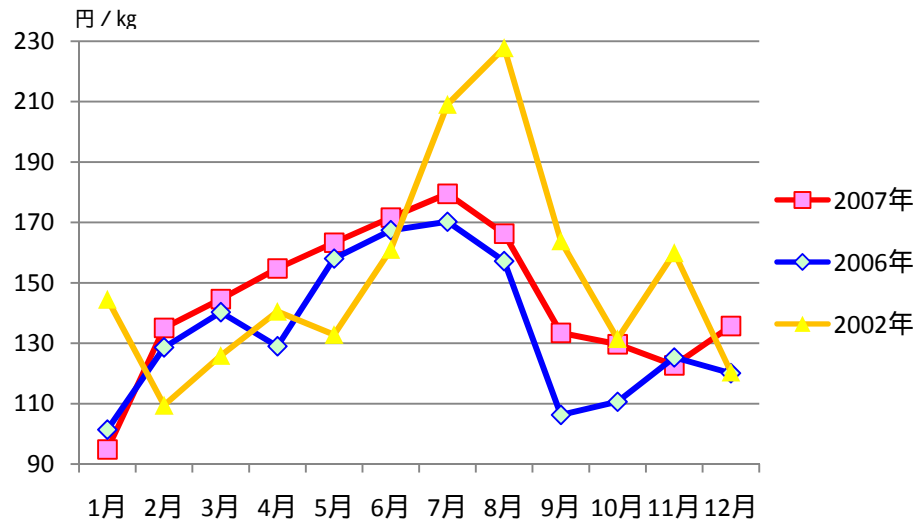
2 産地水産物卸売価格の動向

2007年12月の産地水産物卸売価格は、前年同月と比べ単月ベースで13.0%増加し、累月ベースで7.3%増加。

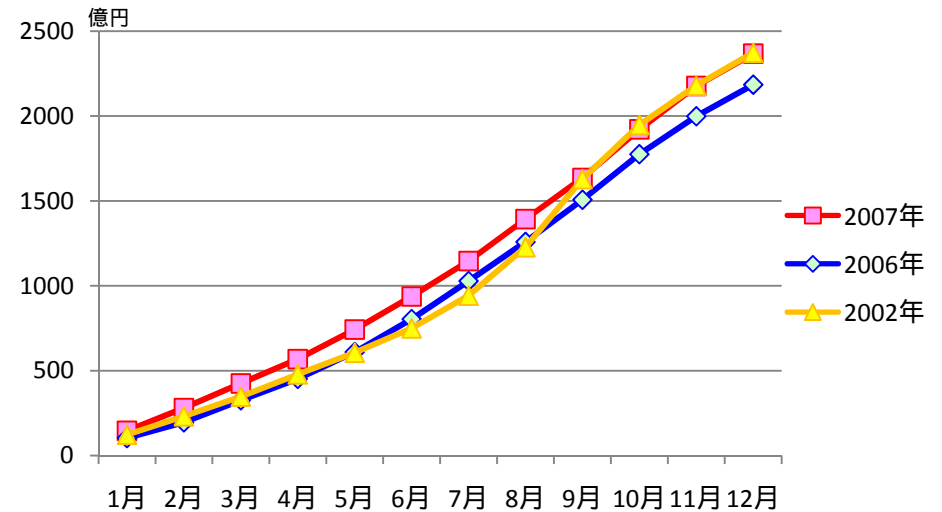
2007年の2月以降は、単月・累月ともに水揚金額は前年実績を上回って推移。

品目別では、くろまぐろ・みなみまぐろ(冷凍)、きはだ(冷凍)、かたくちいわし、さば類などの価格が前年比で大きく増加(累月ベース)。

産地水産物平均卸売価格の推移(単月ベース)



産地水産物累計水揚金額の推移



		H18平均	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19平均
平均産地卸売価格	価格(円/kg)	135	95	135	145	155	163	172	180	166	133	130	123	136	144
	前年同月比	0.9%	-6.5%	5.0%	3.1%	20.0%	3.3%	2.5%	5.4%	5.8%	25.6%	17.2%	-2.1%	13.0%	7.3%
	2002年同月比	-11.6%	-34.4%	23.4%	14.9%	10.1%	22.9%	6.5%	-14.1%	-27.0%	-18.6%	-1.4%	-23.3%	12.7%	-5.2%

出典：農林水産省「水産物流通統計年報」(2002年)、「産地水産物流通統計」

- 注：1) 本統計は、全国2263漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成18年度の年間水揚量(1668千トン)の総生産量(5669千トン、概算値)に対する割合は約29%である。
- 3) 2002年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて計算している。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成19年 1月～12月	18年 1月～12月	対前年 同期比	平成19年 1月～12月	18年 1月～12月	対前年 同期比
			%			%
まぐろ (生鮮) 1	3 406	2 892	118	1 603	1 698	94
〃 (冷凍) 2	931	1 423	65	2 746	2 172	126
びんなが (生鮮) 3	48 717	26 820	182	242	348	70
〃 (冷凍) 4	14 865	9 591	155	292	326	90
めばち (生鮮) 5	11 932	14 774	81	1 129	873	129
〃 (冷凍) 6	19 963	20 767	95	799	728	110
きはだ (生鮮) 7	6 420	8 627	75	735	636	116
〃 (冷凍) 8	10 205	32 180	32	518	305	170
かつお (生鮮) 9	72 884	78 964	93	275	234	119
〃 (冷凍) 10	224 206	220 431	102	163	131	124
まいわし 11	41 669	39 188	103	101	115	89
うるめいわし 12	30 689	17 778	153	65	64	103
かたくちいわし 13	125 098	133 057	97	43	32	134
まあじ 14	92 856	109 117	93	189	179	110
むろあじ 15	15 741	17 603	92	100	94	108
さば類 16	403 499	536 159	73	82	62	134
さんま 17	257 871	208 445	124	73	69	106
ほっけ 18	104 129	79 336	132	38	53	73
するめいか (生鮮) 19	83 443	41 248	232	159	240	65
〃 (冷凍、遠洋) 20	2 505	6 332	40	198	201	99
〃 (冷凍、近海) 21	50 491	53 021	95	233	252	92

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

注:1)平成19年1月分調査より調査区の見直しを行った。なお、「対前年同期比」は、平成18年より引き
続き調査を行っている調査区のみで算出している。

2)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

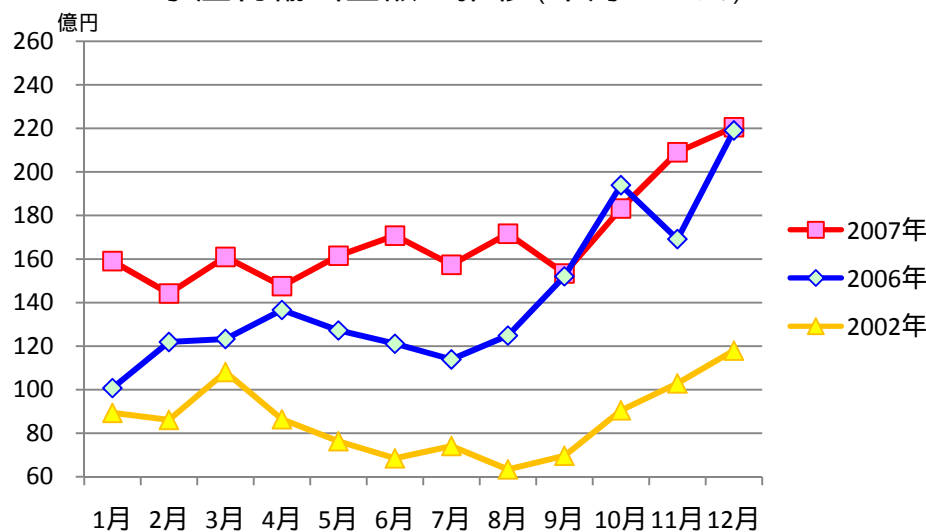
3 - 水産物輸出金額の動向(真珠を除く)

2007年12月の水産物の輸出金額(真珠除く)は前年同月と比べ、単月ベースでは0.7%増加し、累月ベースで19.7%増加。2002年同月比でも、単累月それぞれ87.0%、97.4%増と約2倍に増加。

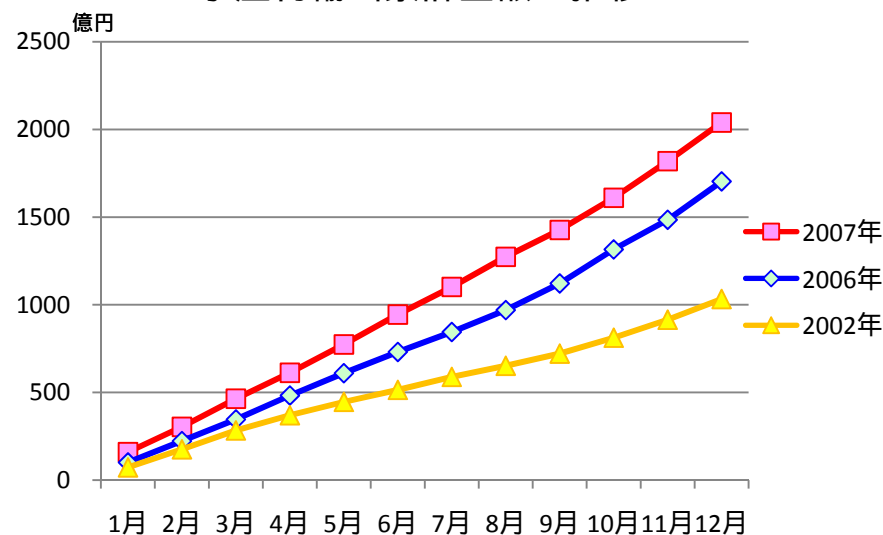
累月ベースでの輸出金額は、前年実績、2002年実績を大きく上回って推移。

品目別輸出金額は乾燥なまこ、まぐろ・かじき類等が大きく増加し、さけ・ます(生鮮・冷蔵・冷凍)等が減少。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



水産物輸出累計金額の推移



		H18計	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19累計
輸出	金額(億円)	1,704	159	144	161	148	162	171	157	172	153	183	209	221	2,039
	前年同月比	17.7%	57.9%	18.3%	30.6%	8.0%	27.0%	41.0%	38.2%	37.5%	0.9%	-5.5%	23.6%	0.7%	19.7%
	2002年同月比	64.9%	78.0%	67.4%	49.0%	70.8%	111.7%	149.4%	112.4%	170.8%	120.3%	102.4%	103.2%	87.0%	97.4%

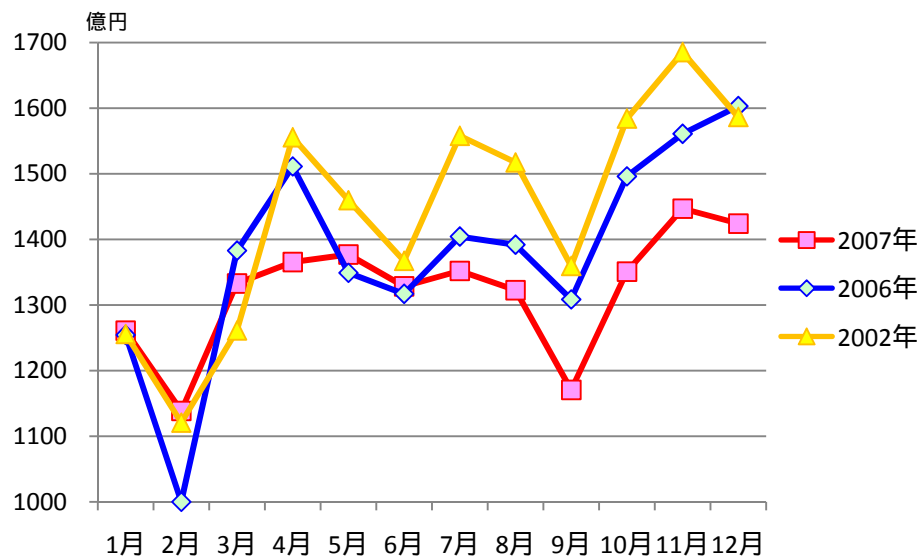
資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」
注: 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入金額の動向(真珠を除く)

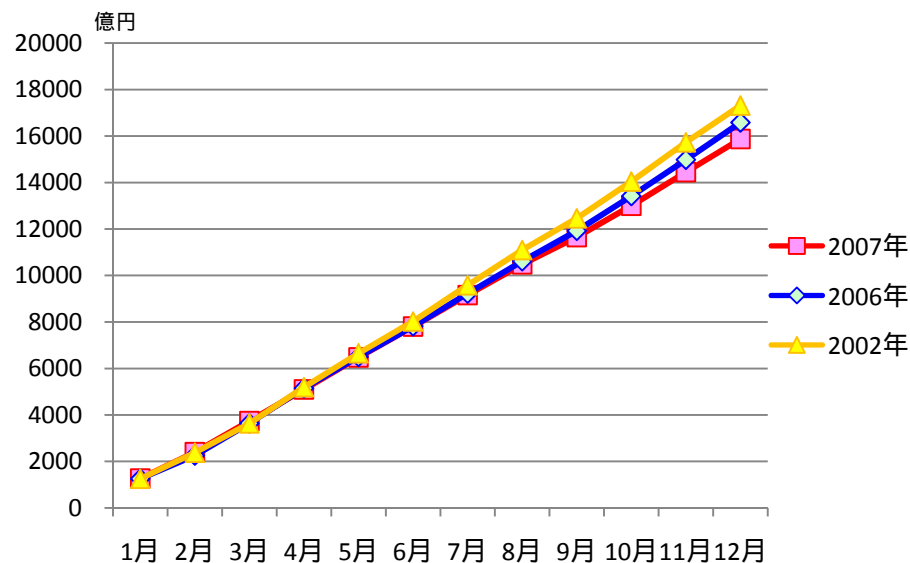
2007年12月の水産物の輸入金額は前年同月と比べ、単月ベースで11.2%減少し、累月ベースで4.3%減少。2002年同月比でも、単累月それぞれ10.2%、8.3%減少している。各年の累月ベースでの輸入金額推移は、あまり変化が見られないが、少しずつ輸入金額が減少してきていることが分かる。

品目別輸入金額はさけ・ます類、いか等で増加、えび、まぐろ・かじき類等で減少。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



水産物輸入累計金額の推移



		H18計	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19累計
輸入	金額(億円)	16,579	1,261	1,139	1,333	1,365	1,377	1,328	1,352	1,323	1,171	1,351	1,447	1,424	15,870
	前年同月比	-4.2%	0.5%	13.8%	-3.6%	-9.6%	2.1%	0.9%	-3.7%	-5.0%	-10.5%	-9.7%	-7.3%	-11.2%	-4.3%
	2002年同月比	1.6%	0.4%	1.6%	5.7%	-12.2%	-5.7%	-2.8%	-13.2%	-12.8%	-13.9%	-14.7%	-14.1%	-10.2%	-8.3%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」
注: 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成18年 1～12月累計	平成19年 1～12月累計	前年 同月比	品目	平成18年 1～12月累計	平成19年 1～12月累計	前年 同月比
真珠	337.7	365.3	8.2%	えび (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	2480.1	2258.6	-8.9%
乾燥なまこ (調製)	101.5	149.8	47.6%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	2325.5	2167.9	-6.8%
まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	100.7	148.7	47.7%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	1070.3	1418.2	32.5%
さば (冷蔵・冷凍)	126.5	141.0	11.5%	かに (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	697.2	658.2	-5.6%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	177.3	133.5	-24.7%	えび(調製品)	620.9	600.5	-3.3%
ホタテ貝 (生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	101.8	127.0	24.8%	真珠	487.5	524.3	7.6%
すけとうだら (生鮮・冷蔵・冷凍)	112.6	123.2	9.4%	いか (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	452.3	519.5	14.9%
貝柱 (調製品)	103.8	101.0	-2.8%	うなぎ(調製品)	551.9	511.9	-7.2%
かつお類 (生鮮・冷蔵・冷凍)	49.6	81.4	64.0%	たらの卵 (生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥)	524.4	451.1	-14.0%
あわび (調製品)	53.0	59.1	11.5%	魚粉	463.0	434.5	-6.2%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

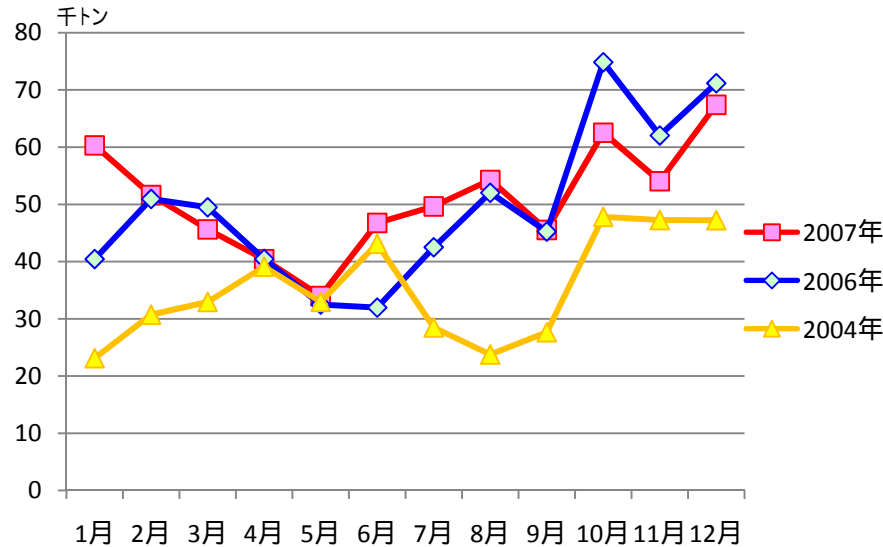
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

2)「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

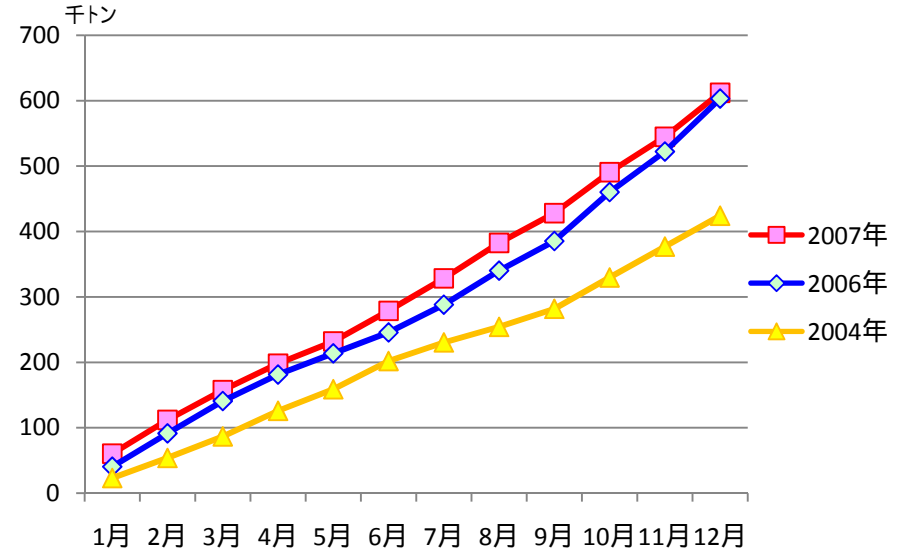
4 - 水産物輸出数量の動向

2007年12月の水産物の輸出数量は前年同月と比べ、単月ベースで5.3%減少し、累月ベースで1.4%増加。2004年同月比では、単累月それぞれ42.7%、44.3%増加。2007年の輸出数量合計は、最終的にはほぼ前年並みとなった。品目別輸出数量はまぐろ・かじき類、たら等が大きく増加し、さば、さけ・ます等が減少。

水産物輸出数量の推移(単月ベース)



水産物輸出累計数量の推移



		H18計	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19累計
輸出	数量(千トン)	603.4	60.3	51.6	45.6	40.4	34.0	46.8	49.6	54.3	45.5	62.5	54.1	67.4	612.2
	前年同月比	26.7%	49.2%	1.4%	-7.8%	-0.1%	4.6%	46.4%	16.8%	4.3%	0.6%	-16.5%	-12.9%	-5.3%	1.4%
	2004年同月比	39.9%	160.8%	68.0%	38.5%	3.3%	3.1%	8.4%	74.2%	128.3%	64.7%	30.7%	14.4%	42.7%	44.3%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

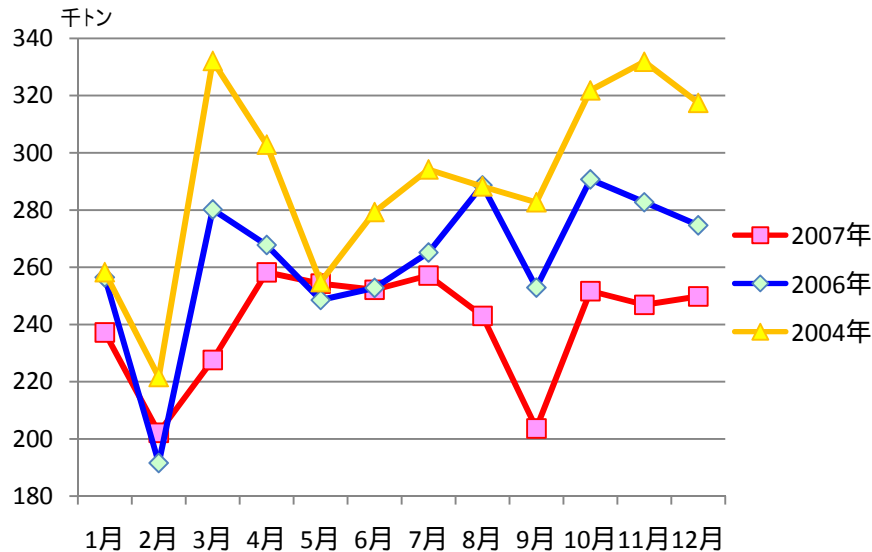
注: 1) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

2) 輸出入数量については、2003年以前の月別データがないため2004年値との比較である。

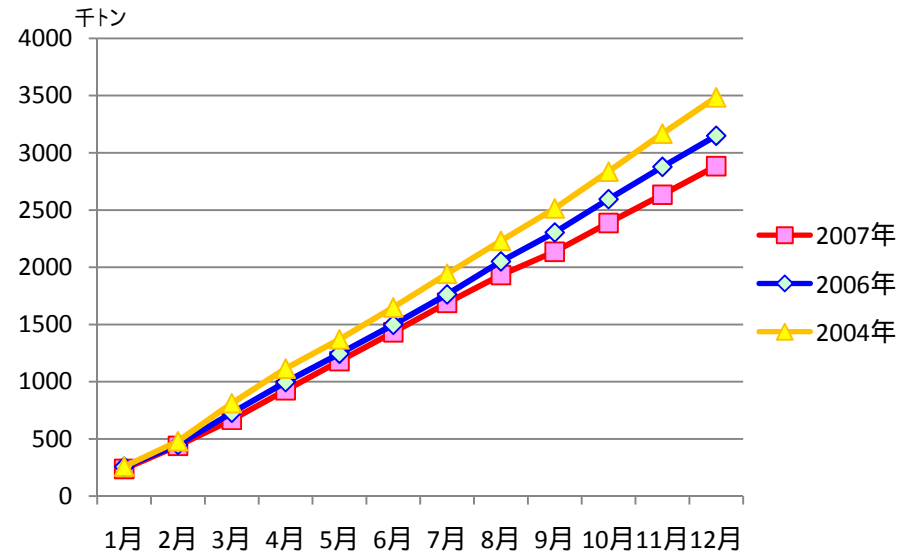
4 - 水産物輸入数量の動向

2007年12月の水産物の輸入数量は前年同月と比べ、単月ベースで9.0%減少し、累月ベースで8.4%減少。2002年同月比でも、単累月それぞれ21.3%、17.3%減少している。各年の累月ベースでの輸入数量推移は、年ごとに減少してきている。品目別輸入数量はさけ・ます、いか等で増加、魚粉、まぐろ・かじき類等で減少。

水産物輸入数量の推移(単月ベース)



水産物輸入累計数量の推移



		H18計	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19累計
輸入	数量(千トン)	3149	237	202	228	258	254	252	257	243	204	252	247	250	2,884
	前年同月比	-5.8%	-7.5%	5.5%	-18.8%	-3.6%	2.3%	-0.3%	-3.0%	-15.8%	-19.5%	-13.4%	-12.7%	-9.0%	-8.4%
	2004年同月比	-9.6%	-8.1%	-8.8%	-31.5%	-14.7%	-0.2%	-9.7%	-12.6%	-15.7%	-28.0%	-21.8%	-25.6%	-21.3%	-17.3%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

2) 輸出入数量については、2003年以前のデータがないため2004年値との比較である。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成18年 1～12月累計	平成19年 1～12月累計	前年 同月比	品目	平成18年 1～12月累計	平成19年 1～12月累計	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	179.9	156.3	-13.1%	魚粉	408.2	346.8	-15.0%
すけとうだら (生鮮・冷凍・冷蔵)	82.5	79.6	-3.5%	まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	287.3	247.2	-14.0%
さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	66.5	58.9	-11.4%	さけ・ます (生鮮・冷凍・冷蔵)	202.4	238.2	17.7%
かつお類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	52.6	55.8	6.0%	えび (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	238.0	214.6	-9.8%
まぐろ・かじき類 (生鮮・冷凍・冷蔵)	25.7	48.3	87.6%	たら (生鮮・冷凍・冷蔵・すり身)	135.5	116.6	-14.0%
さんま (冷凍)	26.2	32.9	25.7%	いか (活・生鮮・冷凍・冷蔵)	94.0	103.2	9.8%
たら (生鮮・冷凍・冷蔵)	9.3	14.7	58.4%	かに (活・生鮮・冷蔵・冷凍)	95.5	75.1	-21.4%
いか (生鮮・冷凍・冷蔵)	10.7	14.3	33.4%	えび (調製品)	69.4	66.9	-3.5%
魚粉	13.6	13.6	-0.2%	ひらめ・かれい (生鮮・冷凍・冷蔵)	49.6	50.4	1.4%
ホタテ貝 (生鮮・冷凍・冷蔵・塩蔵・乾燥)	6.8	8.8	29.5%	いか (調製品)	47.3	49.8	5.3%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

2)「まぐろ・かじき類」は、輸出については輸出入情報の「まぐろ類」と、財務省貿易統計の「かじき」を合算して算出し、輸入については輸出入情報の「まぐろ類」と「かじき」を合算して算出。

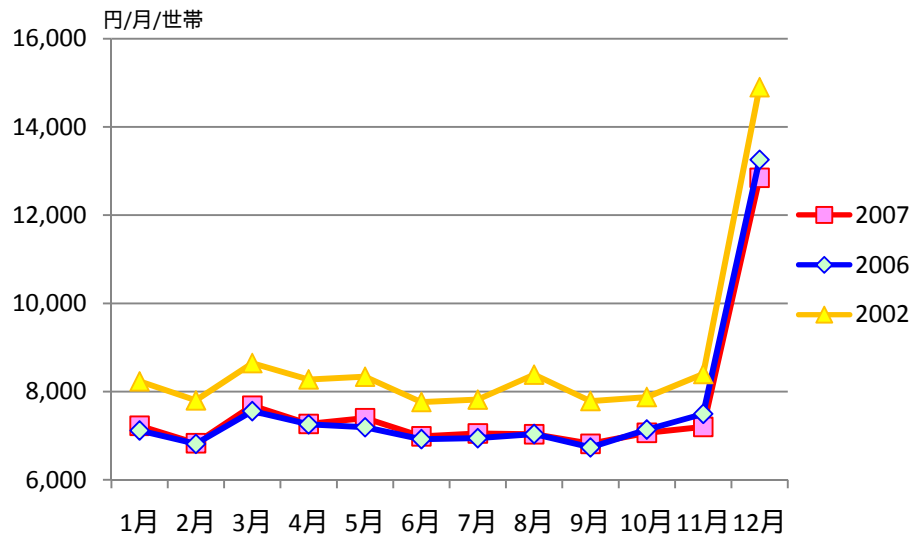
5 魚介類の家計消費の動向

2007年12月の魚介類1世帯1月あたり支出金額は前年同月と比べ、単月ベースで3.1%減少し、累月ベースでは0.1%減少。

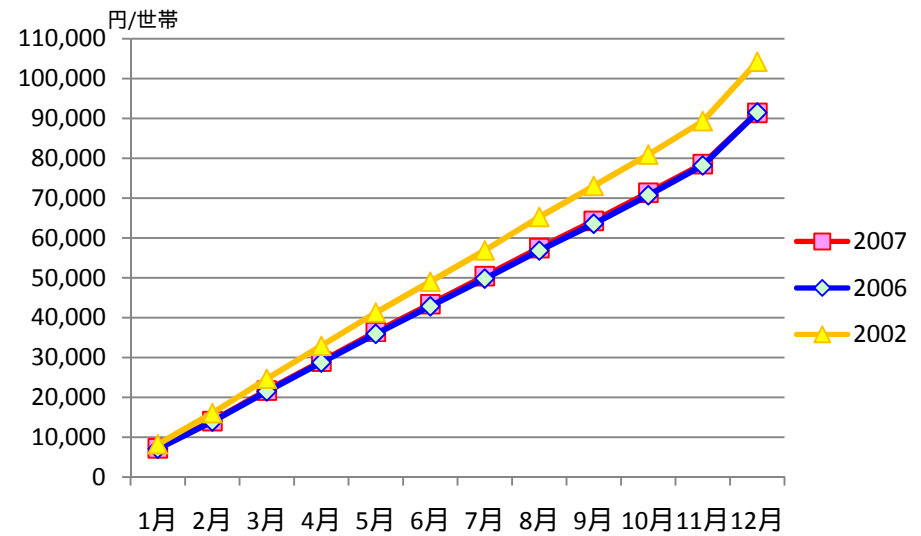
5年前と比べると各月魚介類支出金額は軒並み減少しているが、昨年実績と比較すると2007年の魚介類支出金額合計はほぼ昨年並みとなった。

2006年同月と比べ、まぐろ、ぶり、かつお節・削り節等の支出が増加し、かつお、かき等の支出が減少(累月ベース)

魚介類1世帯1月あたり支出金額の推移(単月ベース)



魚介類1世帯あたり支出累計金額の推移



		H18計	H19.1	H19.2	H19.3	H19.4	H19.5	H19.6	H19.7	H19.8	H19.9	H19.10	H19.11	H19.12	H19累計
魚介類支出金額	金額(円/月/世帯)	91,479	7,227	6,831	7,682	7,269	7,400	6,987	7,053	7,034	6,818	7,068	7,202	12,850	91,421
	前年同月比	-1.0%	1.5%	0.2%	1.6%	0.2%	2.9%	0.9%	1.6%	-0.1%	1.2%	-1.0%	-3.9%	-3.1%	-0.1%
	2002年同月比	-1.8%	-12.2%	-12.4%	-11.1%	-12.2%	-11.3%	-10.0%	-9.8%	-16.1%	-12.4%	-10.3%	-14.3%	-13.8%	-12.3%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 2) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。
 3) 毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の一世帯あたり支出金額

品目	単月の支出金額(円/月/世帯)			累月の支出金額(円/世帯)			品目	単月の支出金額(円/月/世帯)			累月の支出金額(円/世帯)		
	平成18年 12月	平成19年 12月	対前年 同月比	平成18年 1~12月	平成19年 1~12月	対前年 同月比		平成18年 12月	平成19年 12月	対前年 同月比	平成18年 1~12月	平成19年 1~12月	対前年 同月比
鮮魚	6,606	6,295	-4.7%	50,002	50,155	0.3%	ほたて貝	197	205	4.1%	1,460	1,515	3.8%
まぐろ	857	868	1.3%	6,632	6,927	4.4%	他の貝	80	78	-2.5%	584	592	1.4%
あじ	100	97	-3.0%	1,708	1,742	2.0%	塩干魚介	2,604	2,521	-3.2%	16,900	16,853	-0.3%
いわし	43	31	-27.9%	735	733	-0.3%	塩さけ	427	437	2.3%	2,200	2,185	-0.7%
かつお	71	63	-11.3%	2,066	1,883	-8.9%	たらこ	479	398	-16.9%	3,102	3,117	0.5%
かれい	158	162	2.5%	1,671	1,676	0.3%	しらす干し	130	111	-14.6%	1,495	1,549	3.6%
さけ	355	331	-6.8%	3,946	4,032	2.2%	干しあじ	89	85	-4.5%	1,251	1,254	0.2%
さば	116	111	-4.3%	1,359	1,343	-1.2%	干しいわし	34	33	-2.9%	422	430	1.9%
さんま	44	49	11.4%	1,456	1,482	1.8%	煮干し	60	60	0.0%	527	533	1.1%
たい	147	145	-1.4%	1,325	1,228	-7.3%	他の塩干魚介	1,385	1,396	0.8%	7,906	7,782	-1.6%
ぶり	678	661	-2.5%	3,439	3,683	7.1%	魚肉練製品	1,554	1,594	2.6%	8,799	8,971	2.0%
いか	261	251	-3.8%	2,944	2,992	1.6%	揚げかまぼこ	265	260	-1.9%	2,601	2,575	-1.0%
たこ	204	163	-20.1%	1,505	1,386	-7.9%	ちくわ	157	159	1.3%	1,662	1,685	1.4%
えび	664	588	-11.4%	3,729	3,635	-2.5%	かまぼこ	827	870	5.2%	3,191	3,281	2.8%
かに	1,101	1,006	-8.6%	2,442	2,291	-6.2%	他の魚肉練製品	305	304	-0.3%	1,346	1,432	6.4%
他の鮮魚	1,116	1,061	-4.9%	8,974	9,037	0.7%	他の魚介加工品	1,848	1,763	-4.6%	10,762	10,788	0.2%
さしみ盛合わせ	690	709	2.8%	6,072	6,081	0.1%	かつお節・削り節	132	135	2.3%	925	1,017	9.9%
貝類	648	678	4.6%	5,017	4,652	-7.3%	魚介の漬物	722	699	-3.2%	3,256	3,187	-2.1%
あさり	54	62	14.8%	1,148	1,084	-5.6%	魚介のつくだ煮	267	277	3.7%	1,337	1,383	3.4%
しじみ	41	31	-24.4%	595	486	-18.3%	魚介の缶詰	292	249	-14.7%	2,309	2,345	1.6%
かき	276	302	9.4%	1,229	974	-20.7%	他の魚介加工品の その他	435	403	-7.4%	2,931	2,861	-2.4%

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における2007年合計値は速報値である。

次回(2008年1月版)の発行は、2008年3月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 森田

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344